



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社 太平製作所  
コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 尾関 修康

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,808	35.9	229		249		156	
2022年3月期第2四半期	2,066		122		69		85	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 156百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 81百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	112.27	
2022年3月期第2四半期	62.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	8,678	5,374	61.9	3,822.72
2022年3月期	8,588	5,251	61.1	3,774.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,374百万円 2022年3月期 5,251百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		40.00	60.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	35.7	579	211.6	600	112.0	385	72.3	275.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,500,000 株	2022年3月期	1,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	94,015 株	2022年3月期	108,444 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,397,075 株	2022年3月期2Q	1,382,414 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大リスクが懸念されるものの、経済活動に回復の兆しが見られました。

しかしながら、半導体不足を起因とした部品供給不足問題、急激な円安やロシアのウクライナ侵攻に伴うエネルギーコストをはじめとした物価上昇リスクの長期化が懸念されるなど、経済の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く経営環境は、住宅着工戸数が減少傾向にあることや、木材資源の活用用途や調達環境の変化により、客先において市況見通しや設備投資計画を見直す動きも活発になっており、当社の受注計画においても見直しが必要になるなど、環境変化への対応力の重要性が増しております。

このような環境の中、既存機械の改良改善に取り組むとともに、環境の変化に対応した機械の開発に取り組んで参りました。

また、受注計画および生産計画を見直し、納期が長期化する部品を先行して手配するなど、客先希望納期に応えられる体制を強化するとともに、生産効率の向上および部材調達価格の上昇抑制に取り組んで参りました。

これらの結果、売上高は2,808百万円（前年同四半期比35.9%増）となりました。利益につきましては、営業利益は229百万円（前年同四半期は122百万円の営業損失）、経常利益は249百万円（前年同四半期は69百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は156百万円（前年同四半期は85百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①合板機械事業

合板機械事業は、新型コロナウイルス感染症に留意しながら海外営業活動の再開を進めるとともに、延期となっていた海外案件の据付工事を進めました。

また、部品の納期遅れや原材料等の価格上昇が懸念されておりましたが、生産計画の見直しや部品を先行手配するなど工程管理を徹底したことから、予想範囲内の影響に抑えることが出来ました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,597百万円（前年同四半期比65.7%増）、営業利益は146百万円（前年同四半期は243百万円の営業損失）となりました。

#### ②木工機械事業

木工機械事業は、単板チップパーやフィンガージョイント機など主力機械の受注・売上が堅調に推移していることや、顧客ニーズに合わせた付加価値の高い機械の開発および営業活動に注力して参りました。

また、昨年のウッドショック以降、木工業界の景況感に改善が見られるなど設備投資意欲も上向いており、コスト上昇による販売価格への転嫁を進められたことから増収となりました。一方、開発要素の強い新機種の販売によるアフターコストが上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は609百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は104百万円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

#### ③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅着工戸数が前年比で減少傾向にあるものの、営業活動を強化した結果、売上は堅調に推移しました。一方、原価については想定以上に調達価格が高騰するなど厳しい状況で推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は601百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益につきましては、27百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、6,844百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が241百万円減少、有価証券が200百万円減少、流動資産のその他が106百万円減少、現金及び預金が415百万円増加、原材料及び貯蔵品が116百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、1,833百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が208百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、8,678百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、2,793百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が123百万円減少、前受金が104百万円減少、未払法人税等が75百万円増加、賞与引当金が56百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が40百万円増加、流動負債のその他が65百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.9%減少し、509百万円となりました。これは主に、長期借入金72百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、3,303百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、5,374百万円となりました。これは主に、利益剰余金が101百万円増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末残高と比べて30百万円減少し、3,854百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は521百万円（前年同四半期は311百万円の使用）となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の減少による資金の増加が、仕入債務の減少による資金の減少を上回ったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は456百万円（前年同四半期は77百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による資金の減少および有価証券の取得による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は95百万円（前年同四半期は38百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払いによる資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月4日の業績予想の修正に関するお知らせで公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,254,695	2,669,952
受取手形、売掛金及び契約資産	1,854,720	1,613,252
有価証券	2,000,000	1,800,000
仕掛品	271,954	200,020
原材料及び貯蔵品	330,026	446,315
その他	223,338	117,001
貸倒引当金	△1,838	△1,687
流動資産合計	6,932,896	6,844,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	506,807	493,100
土地	689,746	689,746
その他（純額）	104,909	96,948
有形固定資産合計	1,301,463	1,279,795
無形固定資産		
その他	26,467	17,318
無形固定資産合計	26,467	17,318
投資その他の資産		
その他	328,069	536,319
投資その他の資産合計	328,069	536,319
固定資産合計	1,656,000	1,833,433
資産合計	8,588,897	8,678,288
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,049,955	926,760
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	128,000	168,000
未払法人税等	47,171	122,283
賞与引当金	67,205	123,783
受注損失引当金	743	820
完成工事補償引当金	84,000	123,500
前受金	420,579	315,872
その他	147,470	212,972
流動負債合計	2,745,125	2,793,993
固定負債		
長期借入金	212,000	140,000
退職給付に係る負債	265,106	279,390
役員退職慰労引当金	2,445	3,306
その他	112,491	86,906
固定負債合計	592,042	509,604
負債合計	3,337,168	3,303,597

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	111,442	114,957
利益剰余金	4,519,268	4,620,451
自己株式	△142,211	△123,289
株主資本合計	5,238,499	5,362,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,229	12,570
その他の包括利益累計額合計	13,229	12,570
純資産合計	5,251,729	5,374,690
負債純資産合計	8,588,897	8,678,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,066,660	2,808,300
売上原価	1,830,519	2,137,119
売上総利益	236,140	671,180
販売費及び一般管理費	358,249	441,495
営業利益又は営業損失(△)	△122,108	229,684
営業外収益		
受取利息	39	22
受取配当金	1,677	1,729
鉄屑売却収入	1,123	1,402
保険解約返戻金	588	—
助成金収入	48,828	15,085
その他	2,118	2,606
営業外収益合計	54,375	20,846
営業外費用		
支払利息	1,750	1,519
その他	32	10
営業外費用合計	1,782	1,529
経常利益又は経常損失(△)	△69,515	249,001
特別利益		
固定資産売却益	—	163
特別利益合計	—	163
特別損失		
投資有価証券評価損	5,458	—
その他	0	0
特別損失合計	5,458	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74,974	249,164
法人税、住民税及び事業税	10,939	111,638
法人税等調整額	—	△19,319
法人税等合計	10,939	92,318
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△85,913	156,846
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△85,913	156,846



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△85,913	156,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,897	△659
その他の包括利益合計	4,897	△659
四半期包括利益	△81,016	156,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,016	156,186

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△74,974	249,164
減価償却費	48,625	46,801
株式報酬費用	16,355	12,627
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,066	△151
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,848	56,577
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,813	14,284
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,292	861
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,431	77
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	9,700	39,500
受取利息及び受取配当金	△1,716	△1,752
支払利息	1,750	1,519
助成金収入	△48,828	△15,085
固定資産除売却損益(△は益)	0	△163
投資有価証券評価損益(△は益)	5,458	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△58,877	241,468
棚卸資産の増減額(△は増加)	72,372	△44,355
仕入債務の増減額(△は減少)	185,722	△123,195
前受金の増減額(△は減少)	△181,745	△104,706
その他	△324,435	158,706
小計	△369,349	532,178
利息及び配当金の受取額	1,716	1,752
利息の支払額	△1,726	△1,516
助成金の受取額	50,836	28,801
法人税等の還付額	11,481	—
法人税等の支払額	△4,543	△39,359
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,584	521,856
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△75,003	△388,003
定期預金の払戻による収入	158,048	242,004
有価証券の取得による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△4,829	△10,709
有形固定資産の売却による収入	—	163
投資有価証券の取得による支出	△234	△241
投資活動によるキャッシュ・フロー	77,980	△456,786
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△32,000
自己株式の取得による支出	△98	—
配当金の支払額	△27,645	△55,093
リース債務の返済による支出	△11,025	△8,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,768	△95,827
現金及び現金同等物に係る換算差額	264	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△272,108	△30,743
現金及び現金同等物の期首残高	4,357,494	3,885,695
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,085,386	3,854,952

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	964,251	536,699	565,709	2,066,660
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	964,251	536,699	565,709	2,066,660
セグメント利益又は損失（△）	△243,695	123,296	53,678	△66,720

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△66,720
未実現利益の消去	154
全社費用（注）	△55,542
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△122,108

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,596,809	609,542	601,948	2,808,300
セグメント間の内部売上高又は振替高	718	—	—	718
計	1,597,527	609,542	601,948	2,809,018
セグメント利益	146,409	104,775	27,428	278,613

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	278,613
未実現利益の消去	153
全社費用（注）	△49,082
四半期連結損益計算書の営業利益	229,684

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。